

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
前田 拓生			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)

授業のねらい (概要)	本演習では、ビジネスパーソン、特に会計・金融実務家に必要な基礎的な素養を育成するために、金融ファイナンスに関する理論・分析手法を学ぶとともに、論文・研究発表のトレーニングを行うことを目的とする。また、地方創生に資する社会デザインについても考察する。具体的には、金融ファイナンス等の面からの地域おこし、地産地消等に資する活動を通じて研究する方法等を学ぶことになる。加えて、サービスデザインを用いた実践的なPBLを応用し、地域活性化に資する社会実装を行う。そのため、課外でのフィールドワークによる活動も行う。 なお、本演習では、DPに掲げた「財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力」を養うことを目的とする。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 会計学研究法について 本講義の目的の他、会計学研究法についても解説し、授業の進め方・注意事項等についても説明する。 予習 (120分) : 本シラバスを熟読する 復習 (120分) : どのような研究をするかについてまとめる</p> <p>第2回 【遠隔】 研究論文テーマについて 研究論文テーマについてのグループ討議 予習 (120分) : 自分が想定している研究テーマについて調べる 復習 (120分) : 研究テーマについてまとめる</p> <p>第3回 【遠隔】 研究論文テーマ素案の発表 各自がテーマの素案を発表・質疑応答 予習 (120分) : 研究論文テーマ素案を作成 復習 (120分) : 質疑応答を通じて、素案を修正</p> <p>第4回 【遠隔】 修正した素案についてのグループ討議 テーマの近い者でグループになり、それぞれ討議 予習 (120分) : 修正した素案を基に、研究の進め方を作成 復習 (120分) : 討議内容を踏まえ、研究の進め方をまとめる</p> <p>第5回 課題及び仮説設定 論文作成における課題及び仮説設定について学ぶ 予習 (120分) : 課題及び仮説について調べる 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第6回 課題及び仮説についての議論 各自のテーマに沿って、解決すべき課題及び仮説について議論 予習 (120分) : 自分のテーマに沿った課題及び仮説を作成 復習 (120分) : 議論の内容を踏まえ、課題及び仮説を修正</p> <p>第7回 仮説検証 仮説の検証方法について学ぶ 予習 (120分) : 仮説検証方法について調べる 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第8回 【課題】 仮説検証方法についてのグループ討議 仮説検証方法についてグループで討議 予習 (120分) : 各自仮説検証方法を作成 復習 (120分) : 議論内容を基に検証方法を見直し</p> <p>第9回 フィールドワーク活動等の活用について 仮説を検証する際に、フィールドワーク活動を如何に活用するかを学ぶ 予習 (120分) : 各自のフィールドワーク活動をまとめておく 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第10回 調査方法についての議論 アンケート調査について学ぶ 予習 (120分) : アンケート調査について調べる 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第11回 【課題】 調査の実践 実際のフィールドワーク活動の際にアンケート調査を実施 予習 (120分) : 仮説検証に資するアンケート調査項目を作成 復習 (120分) : 調査後に集計する この授業はフィールドワーク活動になるため、高崎市又は富岡市のイベント等に参加することになる。土日等に行うことになるため、振替授業が発生する。イベント参加のための交通費は自己負担となる。</p> <p>第12回 調査からのインプリケーションと反省 調査の集計結果についての議論 予習 (120分) : 調査の集計をし、結果について考察する 復習 (120分) : 議論内容を踏まえ、結果について再考する</p> <p>第13回 より良い検証方法に向けて 調査方法等についての議論 予習 (120分) : 調査結果等を踏まえ、改善点を考察する 復習 (120分) : 議論内容を踏まえ、調査方法について再考する</p> <p>第14回 【課題】 研究論文テーマの発表</p>

	<p>卒業論文のテーマについての発表・質疑応答 予習 (120分) : 卒業論文のテーマを作成 復習 (120分) : 質疑応答を踏まえて、テーマを再考する</p> <p>第15回 総括 これまでの講義を総括する 予習 (129分) : 卒業研究についての計画を作成 復習 (120分) : 講義を基に計画を修正</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP(商学部会計学科)を意識した科目となっている。 財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力</p> <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力</p>
到達目標	<p>①金融ファイナンスに関する理論・分析に必要な基本的な技能を持つ ②会計学や金融論の分析手法を用いて、自分の意見を発表できるとともに、論文等にまとめるために必要となる基礎的な技能を持つ ③地方創生に資する活動を企画・実施するための基本的な技能を持つ</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>課題等を提出した場合、注意点等を赤字 (又はWord提出の場合は、ハイライト) で記入の上、返却する</p>
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意をすること。①病気等やむを得ない欠席の場合には事前に担当教員に連絡をする。②欠席 (公欠を含む) 5回で履修放棄と見なす。③グループ討議等を指示された場合は、積極的に意見を述べ合い、時間内に発表できるよう全員で協力する。</p>
成績評価の方法・基準	<p>プレゼン50%、レポート課題30%、学修意欲20% 但し、学修意欲においては、グループリーダー、発表者の役に積極的に就いたもの等により高い点を与える。</p>
教科書	<p>『新版 論文の教室』新版 (2012/8/28) NHK出版 9784140911945 1,320円</p>
参考書・教材	
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>第8回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。これらの指示確認等を6、7回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第11回 第7回同様の実施として、指示確認を9、10回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第14回 第7回同様の実施として、指示確認を12、13回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。</p>
教員との連絡方法	<p>メール (アドレスは授業内で周知)</p>